

添付資料1

事業計画書

事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 課題解決事業 <input type="checkbox"/> 提案型協働事業(継続団体のみ)
事業名称	人がつながる多様な街・まちづくりをめざす「まちづくりんく」～誰もが地域のつなぎ役(リンクワーカー)～
事業概要 (300字以内)	イヴの木の「女性起業家支援」のノウハウを注ぎ込み、従来の善意に頼る居場所から一歩踏み込んだ『まちづくりんく』を創設します。単に得意を持ち寄るだけでなく、企業で働く女性が日常で感知する、性別格差による小さな社会の摩擦や歪みや、区民の困難な経験を「社会課題を解決する価値」へと昇華させ、社会活動やプチ起業へと育てるインキュベーション型拠点です。初年度は週1回の事務局運営を通じ、個人の洞察を地域の資産へ転換する「リンクワーカー」を育成。地域団体とも活動をリンクさせ、多様な視点で社会をアップデートする担い手を輩出する協働の場を構築し、次年度の本格拠点開設を目指します。
1 課題解決	
解決を目指す地域課題や社会的課題	固定的な性別役割やマイノリティに対する偏見による「孤立」が存在します。また、企業で働く女性が日常で感知する「性別格差による小さな社会の摩擦や歪み」が、解消されないまま個人の閉塞感として蓄積されています。こうした潜在的な社会課題を、逆に活かして新しい解決策を構築する仕組みが必要です。支援団体間の連携(=リンク)を強化することも課題です。既存の居場所事業は善意のボランティアに依存しがちで、当事者が「支援される側」に固定化されたり、やりがい搾取に陥りやすく、持続可能性に課題があります。
期待される具体的な区民・地域への波及効果	草の根的な視点を持つ女性起業家であるイヴの木のメンバーのメンタリングにより、区民が自らの困難な経験を「社会課題を解決するアイデア」へと転換できます。支援の受け手が「リンクワーカー」となり、さらには自立した地域の新たなプレイヤーとして羽ばたくことで、ジェンダー視点を持った多様な事業や居場所が区内に連鎖的に生まれます。個人の微かな違和感や困難な経験を、リンクワーカーとの対話を通じて「社会課題解決プロジェクト」へと構造化することで、当事者は社会の担い手へとエンパワーメントされます。地域には、既存の枠組みでは解決できなかった課題に対する、多様かつ実効性の高い「新しい解決策」が次々と生まれるエコシステムが構築されます。
実施場所	区内の地区会館や公共施設等(初年度ポップアップ実施)。※次年度に本格的な常設拠点施設を確保予定。およびオンライン。
事業の対象者・予定人数	孤立や生きづらさを感じる区民、活動をステップアップさせたい個人・地域団体(予定人数:講座・イベント参加延べ100名)
2 成果目標	
成果目標	1. 週1回の事務局運営を通じた、潜在的ニーズを社会価値に転換する伴走体制の確立。 2. 個人のインサイトをプロジェクト化できる「リンクワーカー」の育成。ボランティアに留まらない、活動の自立・事業化を目指す「地域のつなぎ役」の育成。

成果目標の測定方法	『まちづくりんく』関連イベント・育成講座の参加者数、参加者の発案による新規プロジェクト(プチ起業・自主活動等)の立ち上げ件数、拠点を通じたマッチング件数。個人の視点から立ち上がった、さまざまな社会課題を解決するプロジェクトの数。	
3 将来性		
今後の展開 *事業の発展や自立に向けての目標・考え方など	初年度は地区会館等での移動型拠点を通じ、事業化・自立マインドを持った「リンクワーカー」を発掘・育成します。この人的資本を武器に、次年度は本格的な常設拠点を開設します。将来的には、拠点から生まれたスモールビジネスや地域団体群とともに、行政課題の解決事業を受託したり、女性活躍や多様性を推進する企業からの協賛(CSV)を獲得し、強固な自立運営を目指します。	
4 実現可能性		
事業実施期間	令和 8 年 6 月初旬(選定結果通知日) ~ 令和 9 年 3 月 31 日	
実施内容 (いつ、だれが、どこで、何を、どのように行うのか、実施する内容を具体的にご記載ください)	※補助事業選定後、事業開始から終了までスケジュールをご記入ください。	
	実施月	内 容
	6~7 月	広報物デザイン・作成、週 1 回の事務局拠点運営開始。CF 開始。
	8~12 月	週 1 回の拠点での伴走支援。リンクワーカー育成講座(全 6 回)開催。
	1~3 月	拠点相談対応、社会課題解決プロジェクトの発表会、次年度常設拠点に向けた企画立案
トラブルへの対応 (想定されるリスクとその対処方法)	集客・参加者不足:イヴの木の女性起業家ネットワークを活かし、「起業の先輩に気軽に相談できる居場所カフェ」等のフックを用意し、潜在的な意欲を持つ層を掘り起こす。 クラファン目標未達:会場をオンラインや無料の公共施設に切り替え規模を縮小しつつも、コアとなる「つなぎ役の育成」は確実に実行。	
7 クラウドファンディング		
総事業費	1,000,000 円 ※事業収支計画書【収入】合計・【支出】合計と同額	
補助金目標額	1,000,000 円 ※事業収支計画書【支出】補助対象経費計と同額	
寄附目標金額	500,000 円	
寄附金上限設定額	(設定する場合入力) 円	
実施希望時期 (最大3か月)	令和 8 年 8 月 1 日 ~ 令和 8 年 10 月 30 日	
寄附を募るターゲット層	ジェンダー平等や女性のエンパワーメントに共感する層。既存の「かわいそうな人を助ける福祉」ではなく、「地域の才能や自立を応援する前向きな投資」に関心がある区民や地元企業。	
広報活動計画	「寄附＝地域の新たなプレイヤーを育てる未来への投資」と位置づけ、以下の具体策を展開します。 1. SNS 応援リレー企画:当法人の女性起業家ネットワークや、賛同する区内 NPO 等の代表者をアンバサダーとし、Facebook・Instagram 等で「まちづくりんくへの期待」を語る応援コメントを	

団体名	一般社団法人イヴの木
-----	------------

	<p>リレー形式で継続発信します。</p> <p>2. チラシ・ポスターの配架：区内の男女共同参画センター「らぷらす」、地区会館、コワーキングスペース、地元カフェ等へ赴き、趣旨説明とともに配架・掲示を依頼します。</p> <p>3. ローカルメディアへの PR：「区民の生きづらさを地域活動やプチ起業に変える拠点」という新規性を打ち出し、世田谷区内の地域メディア(二子玉川経済新聞、下北沢経済新聞など)や区報へプレスリリースを配信します。</p> <p>4. 構想発表イベントの開催：CF 開始に合わせてオンライン／オフライン併用の「まちづくりんく構想発表&キックオフ説明会」を開催し、寄付の意義を直接訴求して熱量を生み出します。</p>
8 クラウドファンディング	
寄附目標額を達成しなかった場合の対応	WEB システム費をスリム化し、対面講座の回数を縮小。小規模でも質の高い伴走支援に特化して必ず事業を遂行します。
寄附目標額を超えた場合の対応	参加者が立ち上げるマイプロジェクト(活動やプチ起業)のロゴ作成やチラシ印刷費の一部を助成する「シード(種)資金」として充当し、次年度の本格拠点への弾みとします。

【継続事業のみ入力】

4 前年度成果	
前年度成果目標	※前年度提案書記載内容
前年度成果目標の測定方法	※前年度提案書記載内容
前年度成果目標に対する結果	
5 前年度クラウドファンディング	
前年度寄附目標額 (補助金目標額)	円 (補助金目標額: 円)
前年度寄附金額 (補助金交付額)	円 (補助金交付額: 円)

団体名	一般社団法人イヴの木
-----	------------

5 協働**【提案型協働事業のみ入力】**

協働する必要性	
役割分担 (提案団体)	
協働事業を継続する理由	
将来の展開	

【提案型協働事業のみ 区事業担当課入力欄】

区担当課名	
協働する必要性	
役割分担 (区担当課)	
将来の展開	

団体名	一般社団法人イヴの木
-----	------------

事業収支計画書

☆今回提案する事業に要する予算のみ(×団体の年間予算)を入力してください。

【収入】

費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)
自己資金		0	
区補助金	せたチャレ補助金	1,500,000	クラファン寄附金100万円 + 追加補助50万円
他補助金			
【収入】合計		1,500,000	※事業計画書「総事業費」、【支出】合計と同額

【支出】

☆補助事業以外にかかる経費(他事業に要する人件費・消耗品費、事務所賃借料、光熱水費等)は補助対象外です。必ず、募集要領5. 補助対象経費をご確認の上、ご作成ください。

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)
人件費	伴走支援スタッフ	440,000	※本事業専任。専門的伴走支援:時給1,600円×週6.5時間×42.3週 ※本事業専任(3名交代制)。拠点・Web管理等:時給1,500円×週6時間×42週
	事務局運営スタッフ	378,000	
	[小計]	818,000	
報償費	専門家講師謝礼	150,000	外部講師謝礼:25,000円×6回(社会起業・ジェンダー教育等)
	[小計]	150,000	
交通費			
	[小計]	0	
需用費	広報物印刷費	25,000	A4カラーチラシ(3000部)1万 + A4四つ折パンフ(1000部)1.5万 IDケース・バッジ(2万)、文房具(1万)、記録用ノート(2万)
	消耗品費	50,000	
	[小計]	75,000	
役務費	通信運搬費	15,000	案内状等の郵送代(切手・レターパック等) 拠点運営およびイベント参加者用保険(行事保険等) ターゲット層へ向けたSNS広告(Instagram等)出稿費用
	保険料	15,000	
	広報広告費	112,000	
	[小計]	142,000	

費目	内容	金額(円)	積算根拠(品目・単価・数量等)
委託料	広報物デザイン謝礼	105,000	デザイナー制作依頼:チラシ(3万)+パンフレット(7.5万)
	-----	-----	
	[小計]	105,000	
使用料・賃借料	拠点会場利用料	210,000	地区会館・公共施設利用料:5,000円×42週(週1回開催分)
	-----	-----	
	[小計]	210,000	
その他	-----	-----	
	-----	-----	
	[小計]	0	
[補助対象経費計]		1,500,000	※事業計画書「補助金目標額」と同額
費目	内容	金額(円)	内訳(積算根拠)
補助対象外経費			
	[補助対象外経費計]		0
【支出】合計		1,500,000	※事業計画書「総事業費」、【収入】「合計」と同額

☆必要に応じて、行を増やして作成してください。

団体名	一般社団法人イヴの木
-----	------------

添付資料 3 6 実施体制

団体の概要

設立年月日 (活動開始)	令和 3 年 4 月 1 日			
法人番号 (該当団体のみ)	0109-05-004146			
団体の設立目的	女性起業家を対象とした人的交流および情報交流を通じて相互の親睦を深め、起業支援やビジネスチャンス創出の場を提供すること。また、女性の社会起業家として社会課題の解決に取り組み、多様性を認め合い男女共同参画社会の健全なる発展に寄与すること。			
主な活動分野	まちづくり、地域活性化、子育て・ひとり親支援、男女共同参画			
社員数・会員数 (うち世田谷区在住)	7人 (うち世田谷区在住 5人)			
会費	ⓧ ・ 有 (年額・月額 円)			
主な活動地域	世田谷区全域			
主な活動実績	令和 5 年 9 月:ジェンダー視点の防災訓練・避難所運営啓発イベント実施 令和 6 年 7 月:男女共同参画タウンミーティング事業(世田谷区委託) 令和 7 年 2 月:「レインボーバレンタイン」事業 令和 7 年 7 月:多世代が繋がる居場所「熟レン倶楽部(オトナの社交BAR)」 令和 7 年 11 月:女性アーティスト作品展「せたがや、まち、よむ、あるく展」 令和 8 年 2 月:ジェンダー×防災タウンミーティング			
運営状況(直近 3年間)		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
	総収入	783,382 円	725,997 円	903,102 円
	総支出	576,484 円	818,134 円	972,526 円
	損益	136,898 円	△ 92,137 円	△ 69,763 円
過去のクラウドファンディング活用実績	ⓧ ・ 有(サイト名: 、令和 年 月～ 月実施、 達成額 円/目標額 円)			
当年度の活動予定	当提案事業である『まちづくりんく』の設立(初年度は地区会館等でのポップアップ開催)と、自立支援型リンクワーカーの育成。加えて、男女共同参画タウンミーティング、ジェンダー視点の新しい防災、減災イベント、性別によらないレインボーバレンタインなど、男女共同参画推進社会の啓発事業の実施。			

団体名	一般社団法人イヴの木
-----	------------

事業実現のための体制 (人材、連携・協働関係等)	代表理事をはじめとする各理事が、まちづくり、女性起業支援、マイノリティ支援等の専門分野を有しており、単なる居場所提供に留まらない「インキュベーション(孵化)機能」を提供できる体制があります。これまでの活動で培った区内の起業家や NPO のネットワークを活かし、参加者の自立を伴走支援します。
-----------------------------	---

令和8年度 世田谷区市民活動支援補助金(せたチャレ!) 質問書兼回答書

※提案書及び見積書の審査にあたり、以下の項目について質問します。

※回答は、**令和8年5月14日(木)午後5時まで**に、電子メールに添付しせたチャレ!事務局あてにご提出ください。

●提出年月日:令和8年5月14日

●団体名:一般社団法人イヴの木

NO	団体名	質問箇所	質問件名	質問内容	団体回答
1	一般社団法人イヴの木	事業計画書	「リンクワーカー」の育成について	事業計画書内に記載のある、「リンクワーカー」はどのように育成するのでしょうか。育成講座等において、想定されている具体的な取り組みを教えてください。	<p>体験型プログラムとして「学び」から「実践」までを伴走。講座の塾長には、自治政策研究所の大杉覚氏を想定しています。</p> <p>第1回:「思い込みメガネ」を外そう! 無意識の偏見に気づくワーク。多様な人とフラットに繋がる「準備体操」。</p> <p>第2回:「モヤモヤ」を財産に、ジェンダー視点でアイデア探し (講師:ジェンダー・社会起業の専門家) 日常の生きづらさや性別による違和感を共有し、解決のヒントを得ます。</p> <p>第3回:センパイと本音トーク! 世田谷のリアルな歩き方 (講師:元世田谷区職員のOB・OG、教育関係者) 先輩とまちを歩きながらフランクに対話し、地域との繋がり方を学びます。</p> <p>第4回:「やってみたい!」をカタチにする企画会議 (講師:街づくりの専門家) 第1~3回で発見したアイデアを、具体的な自主活動の企画にします。</p> <p>第5回:15秒間の革命! プロに学ぶ動画づくり (講師:元TBSディレクター・現カメラマンの女性) 街のつなぎ役として、自分のやりたいことを「序・破・急(各5秒)」の構成で15秒動画に。ドラマ風、CM風など自由な表現で発信力を磨きます。</p> <p>第6回:完成上映会&つなぎ役としてのキックオフお披露目会 講座内で15秒動画をプレミア上映し、参加者同士で繋がり(リンク)します。修了証としてIDとリンクワーカーバッジを贈呈。</p>
2	一般社団法人イヴの木	事業計画書 7クラウドファンディング	総事業費、補助金目標額、寄附目標金額について	収支計画書では、総事業費1,500,000円として記載されていることから、寄附目標金額1,000,000円、補助金目標金額および総事業費1,500,000円という認識でよろしいでしょうか。	はい、そのとおりです。
3	一般社団法人イヴの木	事業計画書 8クラウドファンディング	寄附目標金額を達成しなかった場合の対応	「WEBシステム費をスリム化し」とのことですが、事業収支計画書にはWEBシステム費の記載が見受けられません。どの経費を指しているのか教えてください。	わかりづらくてすみません。WEBシステム費とはホームページ・SNS運営に係る意味でしたが、具体的には広報広告費の「ターゲット層へ向けたSNS広告(Instagram等)出稿費用」のことで、達成しなかった場合は、SNS等のWEBでの展開にかかる費用を抑える予定です。

- 提出年月日:令和8年5月14日
- 団体名:一般社団法人イヴの木

NO	団体名	質問箇所	質問件名	質問内容	団体回答
4	一般社団法人イヴの木	事業収支計画書 需用費	広報物印刷費について	カラーチラシ・パンフレットの印刷について記載されていますが、チラシ・パンフレットの内容はどのような想定でしょうか。 内容が「クラウドファンディング獲得目的のみ」の場合、補助対象外経費となります。	カラーチラシに関しては、リンクワーカー講座の告知や、講座に伴う事業(イベント等)の告知を行います。また、パンフレットはイヴの木が目指すジェンダー視点の「まちづくりんく」についての内容説明と、ジェンダー視点に関する解説、イヴの木の紹介などを予定しています。
5	一般社団法人イヴの木	事業収支計画書 需用費	消耗品費について	IDケース・バッジ(2万)、文房具(1万)、記録用ノート(2万)、それぞれの品目・数量等の想定がありましたら教えてください。	初年度は参加延べ人数100人を目標としていますが、まずはIDケース・バッジを各50個(各100円相当)、文房具は、リンクワーカー講座に必要な模造紙、付せん、コピー用紙、マジックペン、マーカーペン、クリアファイル、A3サイズ程度のホワイトボードなど、記録用ノートは講座用50冊(200円相当)とリンクワーカー講座で行う動画作成時の台本・絵コンテ用50冊(200円相当)を想定しています。
6	一般社団法人イヴの木	事業収支計画書 役務費	広報広告費	ターゲット層へ向けたSNS広告(Instagram等)出稿費用の内訳を教えてください。(〇件×〇,〇〇〇円等)	112,000円のMeta広告(Instagram+Facebook) 内訳: ターゲティング検証 67,000円(100円×670クリック)想定 複数ターゲットのA/Bテスト(AとBのパターンを同時に配信し比較) クリエイティブ検証 45,000円(100円×450クリック)想定 静止画・動画の反応比較